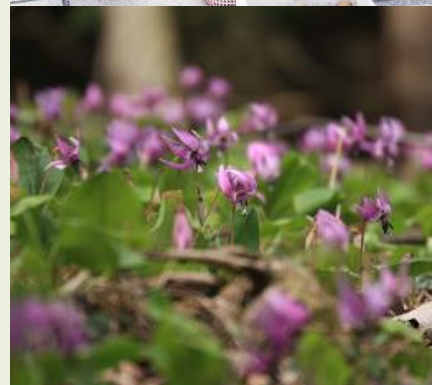




さと やま さと う み
里山里海湖
リーダーズカレッジ

講座収録DVD
貸出しのご案内

2016年、2017年に開催した講座
 をDVDにしました。
 ご自宅でゆっくりと、里山里海湖の
 保全・再生を学んでみませんか。



ご利用にあたって

貸出無料

貸出対象 福井県在住、在勤、在学の方 ※個人の視聴に限ります。

貸出期間 貸出日から15日間

貸出手続 下記窓口に来所の上、借受申込書を提出してください。
 返却の場合も同様です。

※貸出中などにより在庫がない場合がありますので、なるべく事前にお問い合わせください。
 ※遠方の方は郵送での貸出しも受け付けております。(送料は利用者様の負担となります。)

窓口・お問い合わせ

さとやまさとうみ

福井県里山里海湖研究所

三方上中郡若狭町鳥浜122-31-1

TEL 0770-45-3580 FAX 0770-45-3680

メール satoyama@pref.fukui.lg.jp

ホームページ http://satoyama.pref.fukui.lg.jp/



1

里山の暮らしから見える、未来の社会と地域活性化

1960年代を境に石油資源に依存する社会へと移行し、里山は忘れられてきました。価値の共存・持続可能性などの危機が語られる現代、里山の利用から未来の社会を考えます。

2016/7/28

NPO法人共存の森ネットワーク理事長 澁澤 寿一



2

『食』は福井にあり-里・里山・里海湖の暮らしから生まれた食文化-

海山里に恵まれた福井県は、いわば日本の食を凝縮したように、豊かな食文化が花開いている地域。特産食材を生かした伝統的な“地産池消”の知恵をご紹介します。

2016/8/4

フードジャーナリスト、食文化研究家 向笠 千恵子



3

環境保全活動での内発性について

-小笠原環境ボランティア活動を通して-

豊かで持続的な社会の構築に環境問題への取組みは欠かせません。誰もが最優先課題だと考えていますが、展開は容易ではありません。環境保全活動での内発性を高めるための取組みについて考えます。

2016/9/16

東京農業大学非常勤講師、海外農業開発協会専門委員 宮田 正信



4

福井と里山資本主義

身近な資源を生かし豊かに暮らす生き方が注目されています。かつて里山で培われた知恵を現代風にアレンジする「里山資本主義」。21世紀、地方に生きる道を探ります。

2016/11/11

NHKおはよう日本 ディレクター 夜久 恭裕



5

ヤマトシジミと里山・里湖の繋がり

シジミが生息する場所はヒトの生活と密接な関わりがあります。私たちは“しじみ”を単に食材としか見ていない。地球に生きるヒトとして、シジミの役割を考え、漁業の価値と役割を考えましょう。

2017/7/10

学習院女子大学国際文化交流学部日本文化学科 教授 品川 明



6

ドイツのグリーン・ツーリズム ~里山の利用につながる共通点~

農業生産性の低さを補う手段として、ドイツのバイエルン州の中山間地域で始まったグリーン・ツーリズム。発展の歴史や経緯から日本の里山の利用につながる共通点を探ります。

2017/8/25

国際環境NGOバードライフ・インターナショナル東京 代表 鈴江 恵子



7

海・里・山 地球史と人類史

永く永く続く生命の営みの断片が、思った以上に、私たちの生活環境に密接に織り込まれています。今後、人間がどのように海・里・山と関わっていくべきのかを提言したいと思います。

2017/9/15

株式会社オークヴィレッジ 会長 稲本 正

